

**日本海水学会若手会第 17 回学生研究発表会 特別企画**  
**復興支援シンポジウム**  
**「能登半島地震の被害と復興に向けた取り組み」**

**主 催：**日本海水学会若手会，日本海水学会  
**共 催：**(公財)ソルト・サイエンス研究財団  
**協 賛：**日本海水学会西日本支部，日本海水学会電気透析および膜技術研究会/海水環境構造物腐食防食研究会/環境・生物資源研究会/塩と食の研究会/分析科学研究会/日本海水学会海水資源・環境研究会，分離技術会，(一社)日本粉体工業技術協会晶析分科会，化学工学会反応工学部会反応場の工学分科会/材料界面部会晶析技術分科会  
**日 時：**令和 8 年 3 月 5 日 (木) 14:00～16:30  
**場 所：**金沢市文化ホール(金沢市高岡町 15 番1号)

**趣 旨：**日本海水学会若手会では学生を対象とした研究発表会を平成 21 年度より実施しています。第 17 回学生研究発表会は若手会企画として、東日本大震災後に開催されてきた「海水・生活・化学連携シンポジウム」の流れをうけて、令和 6 年 1 月 1 日に震災を受けた石川県金沢市において、「能登半島地震の被害と復興に向けた取り組み」と題した復興支援シンポジウムを企画させていただきました。能登の方はまだまだ復興が十分には進んでおらず、残念ながら現状を見させてもらったり、復興のお手伝いをさせていただいたりすることは難しい状況と聞いております。そのため、「学会として、今できること！」ということで、能登で被災され、復興に向けてご尽力なさっている方のお話を伺う機会を持つことで能登の復興を応援し、風化を防止する集まりにしたいと考えております。シンポジウムは能登の水産資源が受けた被害から発災時の医療活動、そして能登半島地震で建築物が受けた被害に至る幅広い話題で構成させていただきました。奮ってのご参加をお待ち申し上げます。

**プログラム：**

開会の挨拶 日本大学 岡田 昌樹

座長 (一社)日本海事検定協会 西田 紀彦

14:00 ～ 14:30  
講演 1：「能登伝統の揚げ浜式製塩法を明日に繋ぐ」  
(株) Ante 会長 中巳出 理 氏

14:30 ～ 15:00  
講演 2：「いしり」に込めた想いと能登の未来～カネイシの挑戦と、地域を支える力～  
(有) カネイシ 代表取締役社長 新谷 伸一 氏

15:00 ～ 15:30  
講演 3：能登半島地震を乗り越え、牡蠣養殖を未来へ繋ぐために  
(有) 山口水産 山口 翔太 氏

座長 静岡大学 佐野 吉彦

15:30 ～ 16:00

講演 4：過疎地の能登で起きた地震での支援透析について

石川県透析連絡協議会 会長 越野 慶隆 氏

16:00 ～ 16:30

講演 5：令和 6 年 能登半島地震などの地震被害 ～ 木造住宅と年代～

日本大学 生産工学部 建築工学科 鎌田 貴久 氏

開会の挨拶

日本海水学会若手会会長 / 室蘭工業大学 神田 康晴

**参加費（復興支援シンポジウムのみ）：無 料**

**問合せ先：**日本海水学会若手会第 17 回学生研究発表会実行委員会

シンポジウムオーガナイザー 西田 紀彦（海事検定協会）

佐野 吉彦（静岡大学）

学生研究発表会実行委員長 岡田 昌樹\*（日本大学）

副委員長 鈴木 保任（金沢工業大学）

副委員長 神田 康晴（室蘭工業大学）

副委員長 松本 真和（日本大学）

\*E-mail：okada.masaki@nihon-u.ac.jp